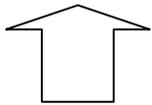
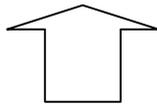


## <我が国経済の基調判断>

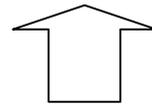
景気は、持ち直しに向けた動きが弱まっており、おおむね横ばいで推移している。



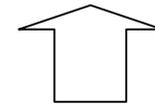
企業収益は改善しており、設備投資は下げ止まりつつある。



雇用情勢は、求人が増加傾向にあるものの、失業率がこれまでの最高水準となるなど、依然として厳しい。



個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底固さもみられる。



輸出は弱含んでおり、生産は横ばいとなっている。

先行きについては、世界経済が緩やかに回復すれば、景気は引き続き持ち直しに向かうことが期待される。一方、アメリカ経済等への先行き懸念や我が国の株価の低迷など、厳しい環境が続いており、我が国の最終需要が引き続き下押しされる懸念が存在している。